

## 5 質問紙調査の結果の概要及び考察

(※平成20年度の本県の質問紙調査と全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、質問項目が同じものについては「全国H20」として結果を載せる。ただし、全国の対象学年は小学校6年生である。)

### (1) 小学校第5学年

#### ア 勉強について

(単位：%)

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない	分からない	その他・ 無回答
勉強すれば、私の好きな仕事にづくことに役立つ	本県H15	50.0	30.8	8.4	4.1	6.3	0.3
	本県H17	38.2	38.8	9.1	4.3	9.6	0.0
	本県H20	43.9	36.6	9.1	3.7	6.7	0.0
勉強すれば、私のふだんの生活や社会に出て役立つ	本県H15	52.2	34.0	6.9	2.8	3.9	0.3
	本県H17	52.9	33.4	6.3	2.8	4.5	0.0
	本県H20	57.5	31.1	5.9	2.2	3.2	0.0
お父さんやお母さんにほめられるよう、勉強したい	本県H15	33.1	32.2	19.2	11.4	3.6	0.4
	本県H17	34.9	30.8	16.2	14.6	3.5	0.0
	本県H20	40.7	31.6	14.4	11.2	2.2	0.0
先生にほめられるよう、勉強したい	本県H15	27.8	34.1	21.1	11.7	4.9	0.5
	本県H17	31.2	32.8	17.3	14.4	4.3	0.0
	本県H20	36.1	34.6	15.5	10.9	2.9	0.0
ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい	本県H15	32.8	43.6	14.8	3.9	4.4	0.5
	本県H17	48.5	35.4	8.6	3.8	3.7	0.0
	本県H20	50.7	34.4	9.1	3.1	2.7	0.0

勉強については、「勉強すれば私のふだんの生活や社会に出て役立つ」の項目で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合が最も高く88.6%となっている。また、「ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい」では、肯定的な意見が85.1%であり、今まで同様、前向きに努力したいと思っている児童が多いことが分かる。

平成17年度本県調査との比較では、「お父さんやお母さんにほめられるよう、勉強したい」で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合が6.6ポイント増え、「先生にほめられるよう、勉強したい」で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合が6.7ポイント増えている。

このように、勉強に意欲的に取り組む姿勢などを認めてもらいたいと考えている児童が多いことがうかがえることから、普段の授業においては、個々の児童のよさや頑張りを認め、児童がもっているやる気を更に伸ばしていけるよう、具体的な取組方法等を助言していくことが大切である。

(単位：%)

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらかと いえばそう 思わない	そう 思わない	分からない	その他・ 無回答
国語の勉強が 好きだ	本県H15	22.1	31.4	25.4	16.4	4.1	0.6
	本県H17	24.0	32.6	22.6	16.9	3.8	0.0
	本県H20	25.4	34.6	22.3	14.9	2.9	0.0
	全国H20	20.6	35.7	28.0	15.6	0.0	0.1
国語の勉強は 大切だ	本県H15	52.8	31.6	8.1	4.5	2.7	0.4
	本県H17	56.6	30.5	6.2	3.8	2.9	0.0
	本県H20	60.4	28.0	6.2	3.6	1.8	0.0
	全国H20	58.5	31.0	7.8	2.6	0.0	0.1
社会の勉強が 好きだ	本県H15	28.3	30.8	22.6	14.0	3.9	0.4
	本県H17	29.1	32.1	21.1	14.5	3.3	0.0
	本県H20	30.4	33.4	21.2	12.5	2.4	0.0
社会の勉強は 大切だ	本県H15	51.2	31.7	9.6	4.4	2.7	0.3
	本県H17	55.2	30.2	7.7	4.1	2.8	0.0
	本県H20	59.6	28.2	6.7	3.6	1.9	0.0
算数の勉強が 好きだ	本県H15	41.6	27.1	16.2	11.5	3.1	0.4
	本県H17	47.4	26.6	13.6	10.1	2.4	0.0
	本県H20	47.1	27.1	14.2	9.7	1.9	0.0
	全国H20	36.3	29.2	19.9	14.4	0.0	0.3
算数の勉強は 大切だ	本県H15	62.5	25.1	6.3	3.5	2.2	0.3
	本県H17	66.2	23.6	4.7	3.2	2.3	0.0
	本県H20	66.7	23.6	5.1	3.1	1.5	0.0
	全国H20	69.1	22.6	5.7	2.3	0.0	0.2
理科の勉強が 好きだ	本県H15	48.7	29.6	12.8	6.1	2.4	0.3
	本県H17	48.6	30.4	12.1	6.8	2.2	0.0
	本県H20	51.0	30.3	11.5	5.7	1.5	0.0
理科の勉強は 大切だ	本県H15	44.8	33.0	12.7	5.2	3.6	0.7
	本県H17	45.1	34.1	11.8	5.5	3.5	0.0
	本県H20	51.6	31.5	10.0	4.6	2.4	0.0

「(教科)の勉強が好きだ」という項目では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は、高い順に、理科81.3%、算数74.2%、社会63.8%、国語60.0%となっている。

平成17年度本県調査との比較では、すべての教科において、「そう思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合が高くなっている。また、本県の算数においては、全国と比較すると、8.7ポイント上回っている。本県では、一般に、算数と理科を好む傾向が見られるようである。

「(教科)の勉強は大切だ」という項目と「(教科)の勉強が好きだ」という項目とを比較すると、同教科の項目において、「そう思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合が同程度であるのが理科である。それ以外の教科では、「大切だ」と考えている児童の割合が、「好きだ」と答えている児童の割合より、16.1ポイントから最大28.4ポイント上回っている。

勉強することが大切だと考えてはいるが、その教科を好きだと思えない児童がみられることから、授業の導入などに工夫を凝らして興味・関心を高めるなどの指導の工夫改善を図りながら、分かる喜び、できる喜びが実感できる授業づくりを心がける必要がある。

## イ 授業について

(単位：%)

		よく分かる	だいたい分かる	分かることと分からないことが半分ずつある	分からないことが多い	ほとんど分からない	その他・無回答
国語の授業がどの程度分かりますか	本県H15	24.5	48.2	21.3	4.9	1.0	0.1
	本県H17	21.5	48.4	25.2	4.0	0.9	0.0
	本県H20	24.3	47.3	23.6	3.9	0.9	0.0
	全国H20	31.4	46.7		16.9	4.9	0.1
社会の授業がどの程度分かりますか	本県H15	25.4	41.5	24.2	7.3	1.5	0.2
	本県H17	23.3	43.4	24.6	7.3	1.4	0.0
	本県H20	25.7	43.5	23.1	6.4	1.3	0.0
算数の授業がどの程度分かりますか	本県H15	36.4	35.5	19.8	6.3	1.6	0.3
	本県H17	40.2	35.1	17.5	5.7	1.4	0.0
	本県H20	41.6	34.7	16.9	5.6	1.2	0.0
	全国H20	43.2	35.3		15.7	5.6	0.2
理科の授業がどの程度分かりますか	本県H15	36.3	41.4	17.1	3.6	0.8	0.8
	本県H17	34.3	42.0	18.7	4.1	0.8	0.0
	本県H20	37.6	40.8	17.1	3.6	0.9	0.0

「(教科)の授業がどの程度分かりますか」という質問では、「よく分かる」、「だいたい分かる」と回答した児童の割合は、高い順に、理科78.4%、算数76.3%、国語71.6%、社会69.2%となっている。

平成17年度本県調査との比較では、どの教科においても、「よく分かる」あるいは「だいたい分かる」と回答した児童の割合が、1.0ポイントから最大2.5ポイント上回る程度であり、大きな差はない。ただ、国語と算数において全国と比較すると、「よく分かる」あるいは「だいたい分かる」と回答した児童の割合が、国語で6.5ポイント、算数で2.2ポイント下回っている。

「(教科)の勉強が好きだ」で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合の高い教科は、授業が「分かる」、「だいたい分かる」の割合も高い傾向が見られる。

## ○ 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。(複数回答) (単位：%)

	その場で先生にたずねる	授業が終わってから先生にたずねに行く	友人にたずねる	家族の人にたずねる	塾や家庭教師の先生にたずねる	自分で調べる	そのままにしておく	無回答
本県H15	26.2	14.9	54.2	55.1	5.2	34.4	12.3	1.1
本県H17	24.8	15.1	52.1	55.3	4.0	36.2	13.2	0.0
本県H20	22.3	16.4	52.8	54.1	4.0	34.9	13.0	0.0

授業の中で分からないことがある時には、「友人にたずねる」が52.8%、「家族の人にたずねる」と答えた児童が54.1%と高くなっている。

平成17年度本県調査との比較では、3ポイント以上差のある項目はなく、ほぼ同程度であるといえる。

平成15年度からの課題であった、「そのままにしておく」と答えた児童の割合が、平成17年度から0.2ポイントしか減っていないことから、今後は、「そのままにしておく」と回答した児童の状況を把握するとともに、授業において分からないことを教師にたずねやすい雰囲気づくりに努めたり、児童同士互いに教え合える温かい人間関係づくりに努めるとともに、自分で調べたりして学習を進めていくことができるよう、一人勉強の進め方等を助言していくことが大切である。

## ウ 家庭学習について

○ 学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか。 (単位：%)

	全く、または、ほとんどしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	その他・無回答
本県H15	10.7	21.3	35.8	21.6	7.4	2.9	0.3
本県H17	9.6	19.1	36.7	24.8	7.1	2.7	0.0
本県H20	6.7	14.9	36.6	30.6	8.5	2.7	0.0
全国H20	4.5	12.8	26.2	30.5	14.2	11.7	0.0

○ ふだん家庭でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。(複数回答) (単位：%)

	ほとんど勉強しない	宿題が出れば、宿題をする	試験があれば、それにそなえて勉強する	予習や復習をする	興味があることについて自分で調べたり、たしかめたりする	無回答
本県H15	8.8	75.1	29.0	31.1	23.2	0.5
本県H17	7.5	75.9	34.0	33.0	23.8	0.0
本県H20	5.6	73.7	33.5	36.0	24.8	0.0

平日において、学校の授業時間以外に、30分以上（「30分以上」には「1時間以上」、「2時間以上」、「3時間以上」を含む）勉強すると回答した児童は78.4%であり、平成17年度本県調査より7.1ポイント上回っている。さらに、1時間以上（「1時間以上」には、「2時間以上」、「3時間以上」を含む）勉強すると回答した児童は41.8%であり、平成17年度本県調査より7.2ポイント上回っている。一方、「全く、またはほとんどしない」と回答した児童は6.7%であり、平成17年度本県調査より2.9ポイント下回っている。このことから、平成17年度本県調査に比べて家庭学習の時間が若干長くなっていることが分かる。

家庭学習については、「ほとんど勉強しない」と回答した児童は5.6%であり、平成17年度本県調査から1.9ポイント下回っている。また、「宿題が出れば、宿題をする」及び「試験があれば、それにそなえて勉強する」の2項目についても、平成17年度本県調査から若干下回っている。反面、「予習や復習をする」及び「興味があることについて自分で調べたり、たしかめたりする」の項目で、若干上回っている。

全国との比較では、30分以上勉強すると回答している児童の割合を見ると、本県が4.2ポイント下回っており、2時間以上勉強する児童の割合は、本県が14.7ポイント下回っている。平成17年度本県調査と同様、長時間勉強する児童の割合が全国に比べて少ないことが分かる。

今後は、「予習や復習をする」及び「興味があることについて自分で調べたり、たしかめたりする」などの、宿題などの決められた勉強ではなく、主体的に家庭学習に取り組む児童が増加傾向にあることから、家庭との連携を密にしながら、家庭学習の習慣を身に付けさせるとともに、やらされる勉強ではなく、学ぶ楽しさを体験していくことで、主体的に学ぶ意欲や態度を育てていくことが大切である。

## エ 生活について

○ 1日にどのくらいすいみん時間をとりますか。 (単位：%)

	10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない	その他・無回答
本県H15	9.8	28.7	35.9	15.0	7.4	3.0	0.3
本県H17	9.9	28.4	37.0	14.5	7.2	2.9	0.0
本県H20	9.0	28.6	37.2	15.7	6.9	2.6	0.0
全国H20	6.9	28.5	37.0	18.5	7.0	1.9	0.2

○ 学校に行く前に朝食をとりますか。 (単位：%)

	必ずとる	たいていとる	とらないことが多い	全く、または、ほとんどとらない	その他・無回答
本県H15	79.4	14.4	4.3	1.5	0.5
本県H17	80.2	13.8	4.4	1.6	0.0
本県H20	83.8	11.5	3.4	1.3	0.0
全国H20	87.1	8.3	3.7	0.8	0.0

「1日にどのくらいすいみん時間をとりますか」という質問では、「8時間以上」(「8時間以上」には、「9時間以上」、「10時間以上」を含む)と回答した児童は74.8%であり、平成17年度本県調査より0.5ポイント下回っており、全国より2.4ポイント上回っている。

「学校に行く前に朝食をとりますか」という質問では、「必ずとる」、と回答した児童は83.8%であり、平成17年度本県調査より、3.6ポイント増えている。

このことから、「8時間以上」睡眠時間をとっている児童の割合は、全国を上回っているが、「朝食を必ずとる」児童の割合は、全国より3.3ポイント低くなっていることが分かる。

全国調査では、「朝食を毎日食べる」、「学校への持ち物を確認する」、「毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりする」などの基本的な生活習慣と正答数との相関が比較的強いという結果が明らかとなっている。学校においても、適切な家庭学習の課題を与えるなど、生活・学習習慣の確立に向けた適切な指導を行っていくことが望まれる。また、保護者や地域と連携を図りながら、児童生徒の家庭での生活・学習習慣の形成を支援していく取組が必要であると考えられる。

## オ 読書について

○ 学校の授業以外で1日にだいたいどのくらい読書をしますか。 (単位：%)

	全く、または、 ほとんどしない	10分より 少ない	10分以上、30分 より少ない	30分以上、1時 間より少ない	1時間以上	その他・ 無回答
本県H15	27.8	18.0	28.8	16.8	8.4	0.3
本県H17	27.1	17.8	30.8	16.2	8.2	0.0
本県H20	26.7	18.2	30.5	16.5	8.1	0.0
全国H20	20.3	16.7	26.0	20.6	16.3	0.1

平日においては、学校の授業以外に「10分以上」（「10分以上」には、「30分以上」、「1時間以上」を含む）読書をするると回答した児童は55.1%であり、平成17年度調査より0.1ポイント下回っている。また、「30分以上」（「30分以上」には、「1時間以上」を含む）読書すると回答した児童は24.6%であり、平成17年度本県調査とほぼ同様である。また、「全く、または、ほとんどしない」と回答した児童は26.7%であり、これも平成17年度本県調査とほぼ同様である。

全国との比較では、10分以上読書をするると回答した児童の割合は、本県が7.8ポイント下回っており、30分以上読書すると回答した児童の割合は、12.3ポイント下回っている。また、「全く、または、ほとんどしない」児童の割合は、全国に比べて本県が6.4ポイント高くなっている。

今後は、児童に読書の楽しさとの出会いを積極的につくっていくことが大切である。読書に親しむ態度や読書習慣を身に付けさせるために「朝の読書」や読み聞かせ、ブックトークなどの読書活動を日常の教育活動に取り入れたりしながら、読書の時間の確保や読書の機会の充実を図っていくことが大切である。

## カ 進学について

○ 将来どの学校まで進みたいですか。 (単位：%)

	中学校まで	高校まで	短大まで	大学まで	その他の 学校	分からない	無回答
本県H15	2.6	33.5	7.1	31.7	7.5	17.4	0.2
本県H17	2.4	31.6	6.3	32.1	9.4	18.2	0.0
本県H20	2.1	31.9	7.1	34.0	10.2	14.8	0.0

進学については、高等学校以上（「高等学校」以上には、「その他の学校」を含む）の学校まで進みたいと回答した児童は83.2%である。

高校までが31.9%に対して、短大・大学までが41.1%となっており、短大・大学の方が9.2ポイント上回っている。平成17年度本県調査とほぼ同様であるが、「分からない」が3.4ポイント減っている。

「分からない」が減っていることから、将来について具体的に考える児童が若干増えていると見ることができるが、今後も、児童が将来の夢や希望をもてるように、進路指導の充実を図っていくことが大切である。